

1. 施設紹介

症例登録研究に参加いただいている施設を、こちらで順次紹介します。

今回は、『三重大学医学部附属病院 循環器内科』です。

.....

当科では伊藤正明教授の御指導のもと、4名の医師が肺循環・静脈血栓塞栓症グループとして、肺高血圧症、肺血栓塞栓症、静脈血栓症などの診療・研究を行っております。

これまでに近隣の開業されている先生方や、三重県下の総合病院の循環器内科、膠原病内科、呼吸器内科、小児科等の先生方と共に、年間3～4回の病診連携の会を開催し、気軽にご紹介いただけるようなコネクション作りを行って参りました。その甲斐もあって、肺高血圧症の原因精査ならびに適切な治療選択を目的として、多くの肺高血圧患者さんをご紹介いただけており、特発性、膠原病関連、先天性心疾患や門脈圧亢進症に伴う肺動脈性肺高血圧症(PAH)や慢性血栓塞栓性肺高血圧症(CTEPH)はもちろんのこと、肺疾患や左心疾患に伴ういわゆる **Out of proportion** 例も少しずつ増えてきております。

特に当科では、PAHの早期発見・早期治療に力を入れており、以前より膠原病患者さんに対する心エコーによるスクリーニング検査にて、ボーダーラインPHと判断された患者さんを対象に運動負荷右心カテーテル検査を行い、運動負荷時の血行動態の反応性や早期治療介入の効果についての検討を行っております。

また、当科の特色といたしましては、先代の中野赳教授の時代から40年以上にわたって、肺血栓塞栓症や静脈血栓塞栓症の臨床研究を行っていることも影響し、現在も20例を超えるCTEPHの患者さんの外来診療を行っております。手術適応となる近位型CTEPH例は、隣県の藤田保健衛生大学(現在は大雄会病院)心臓血管外科の安藤太三先生に肺動脈血栓内膜摘除術を行っていただき、適応から外れる末梢型CTEPHや術後残存PH例に対しては、当科にて積極的に経皮的肺動脈バルーン拡張術(BPA)を施行し、良好な成績を得ております。

また、国内で増加しつつあり問題視されている成人先天性心疾患の患者さんに関しましても、現在、当院小児科にご協力いただき、今後は小児科と共に当科でも外来診療を行っていく予定です。さらに、現在、肺高血圧ラットモデルを用いて、肺高血圧症の病態解明、新しい治療法の開発を目的とした基礎実験も進めております。

日本発のエビデンス作りに微力ながら貢献させていただけるよう、症例登録研究に可能な限り、症例を追加していく所存です。今後ともよろしくお願い申し上げます。

(三重大学医学部附属病院 循環器内科 講師 山田典一)

.....

2. 症例登録研究の登録状況について

2014/3/4 現在の登録状況をお知らせします。

【総登録数】 767 例 (12 施設)

登録施設：

1. 東北大学病院 循環器内科 409 例
2. 福岡大学病院 循環器内科 126 例
3. 三重大学医学部附属病院 循環器内科 118 例
4. 佐賀大学医学部 循環器・腎臓内科 29 例
5. 浜松医科大学医学部附属病院 臨床薬理内科 25 例
6. 山形大学医学部附属病院 循環器内科 19 例
7. 兵庫医科大学 循環器内科 13 例
8. 神戸大学医学部附属病院 循環器内科 11 例
9. 富山大学大学院 医学薬学研究部 内科学第二 7 例
10. 京都府立医科大学 循環器・腎臓内科 6 例
11. 名古屋大学医学部附属病院 循環器内科 3 例
12. 岡山大学病院 循環器内科 1 例

3. 症例登録研究の参加について

症例登録研究へのご参加を、是非ご検討ください。

ご参加いただける場合は、学会事務局までご連絡ください。

プロトコル等の資料を送らせていただきます。

倫理委員会承認後に、web システムの ID/パスワードを発行させていただきます。

また、テスト ID もご用意しておりますので、システムをご覧になりたい場合も学会事務局までご連絡ください。

※このメールは日本肺循環学会に e-mail アドレスを登録されている会員に配信しております。